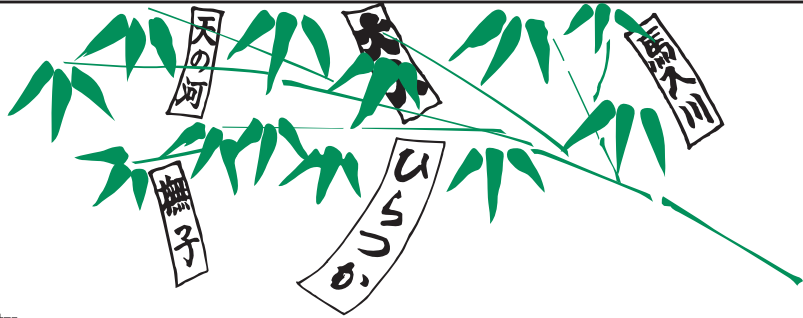




2011～2012年度 国際ロータリーテーマ

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 杉山善弥 ● 副会長 牧野國雄 ● 幹事 鶴井雄仁 ● 会報委員長 小野 学 (2011～2012年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2835回

2012年4月5日(木)

グランドホテル神奈中

週報第2835号

本日の卓話者ご紹介

國學院大學 大学院・学部兼任講師

城崎陽子様



卓話

文化財の保護と富士信仰の継承

平成10年から東京都武蔵村山市で文化財保護審議委員をつとめております。文化財保護審議委員とは、教育長直属の諮問機関で、文化財保護に関する諮問に対して答申をするのが主な仕事です。私が文化財保護審議委員を拝命いたしましたのは、他でもなく、武蔵村山市に残る富士信仰を無形民俗文化財として指定し、保護するためでした。もちろん、視察なくして答申文を書くことはできませんので、ちょうどこのころから、富士信仰関連の史跡や遺習を見てまわることとなりました。そして、富士信仰の現状を見てまわることで、江戸時代の民衆宗教である富士信仰の保護と保存は急務と感じました。日本の民間習俗のうち、無形民俗文化財として候補にあがる対象のほとんどがそうであるように、維持団体の高齢化、後継者の不足といった典型的な問題をかかえていたからです。

一方、視察調査をすすめるなかで、興味深いことばりに出会いました。私自身は日本の古典文学の中でも和歌

が専門分野です。ひと口に和歌といっても、歌の伝承や古今伝授といった、いわゆる時代を超えた歌のあり方や受け継がれ方を研究する点に主眼があります。この「歌のあり方や受け継がれ方」という観点と、「民衆教化」という観点で和歌と富士信仰はその共通するところをもっていることに気がきました。歌による教え——これを「教誡歌」といいますが——は、民衆宗教としての富士信仰にとって、最も大切な「お伝え(教義を示す教典)」の一部となっており、このわかりやすく、かつ覚えやすい「教え」によって、富士信仰は広く民衆を取り込み、「江戸八百八講」と呼ばれるほどのブームを迎えることとなるのです。

富士の山登りて見れば何ものもなし良きも悪きもわが心なり
争いは我がいる所さらになし下なる人を上へかみへと

といった歌は現代の人生訓としても十分に通用する内容を持っています。このことは、いわゆる山岳修験に発する富士信仰の民衆教化が、儒教的な内実を思想としてもっていたとされる所以でもあり、度々の禁令にもかかわらず、信仰の命脈を保ってきた理由でもあるのです。

現代において、パワースポットとし注目を集める富士山ですが、現代人が富士山に求める現世利益は「救い」でしょう。こうした「救い」を求めることの根拠は様々でしょうが、富士山に登り、「パワー」を頂こうと思う人々の「思い」と富士信仰の内実が異なっているとは思えません。人を陶冶し、四民平等を基軸に万民の救済を願う富士信仰の教えは、一見古くさく見えつつも、実は現代人の生活の中で欲求されていることなのではないでしょうか。民衆宗教は各時代の民衆とともにその姿を変えてきました。富士信仰も文化財として保護される一方、新たな局面を迎えようとしているのではないかと思います。そして、この新たな局面が開かれることこそ、文化財を残していく一つの「手だて」でもあるのです。

<出席報告>

本日 4月 5日	会員数 60名	対象者 54名	出席者 44(41)名	出席率 75.93%			
前々回 3月15日	会員数 59名	対象者 53名	出席者 37(34)名	出席率 64.15%	MUP 6名	計 6名	修正率 75.47%

城崎陽子様 プロフィール

氏名 城崎陽子(しろさき ようこ)
生年月日 昭和37年11月18日 岡山県に生まれる。
学位 博士(文学)
現職 國學院大學 大学院・学部 兼任講師
主著

『上代文学への招待』(共著)(平成6年、ペリカン社)
『万葉集の編纂と享受の研究』(平成16年、おうふう)
『新編 荷田春満全集』第4巻(共編著)(平成17年、おうふう)
『新編 荷田春満全集』第5巻(共編著)(平成18年、おうふう)
『万葉集神事語辞典』(共監修)(平成20年、國學院大學)
『近世国学と万葉集研究』(平成21年、おうふう)
『万葉集を訓んだ人々―「万葉文化学」のこころみ―』
(平成22年、新典社)

國學院大學で、折口信夫の学統を継ぐ万葉集研究を学び、『万葉集の編纂と享受の研究』で博士(文学)の学位を戴きました。

現在は、同大學兼任講師として教壇に立つ一方で、「歌とは何か」をテーマに、我が国の各時代における万葉集享受や東アジアの歌世界を視野に入れた幅広い万葉集研究を行っています。同時に、富士信仰の活動を通じて行う民衆宗教の研究を「富士に祈る」と題して高尾山薬王院発行の『高尾山報』に連載中です。

E-mail aoniyosi@kokugakuin.ac.jp

<委員会報告>

◎新世代委員会 鳥海衡一委員長

第39回平塚市緑化まつりに「巣箱づくり教室」を開催致します。本年もご参加ご協力をお願い申し上げます。ご参加の有無を本日お配りしました用紙にご記入いただきご提出ください。

日時：4/28(土) 10:00～15:00

会場：平塚市総合公園内 「平塚のはらっぱ」

締切：4/19(木)まで。

<会長報告>

◎ロータリー米山記念奨学会より秋山佳彦会員(米山記念奨学会委員長)へ、今年度の寄付で第2回米山功労者マルチプルとなり、表彰状が届いております。御協力いただき有難うございます。



<幹事報告>

◎3/22卓話の松村悠実子様より、下記内容のお礼メールを頂きました。

本日、お話をさせて頂きました、松村悠実子です。貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。緊

張しておりましたが、皆様のあたたかい雰囲気が嬉しく、あっという間でした。また機会がございましたらお会いできるのを楽しみにしております。本日は本当にありがとうございました。

◎第4630地区GSE来日チーム歓送迎会開催のご案内

日時：4/11(水) 18:30～20:30

場所：藤沢産業センター8F『情報ラウンジ』

*杉山善弥会長が出席します。

◎現・次年度IA委員会開催のご案内「現・次引継委員会及び親睦会」

日時：2012年4月14日(土)

16:00～委員会・18:00～親睦会

委員会場所：藤沢 ガバナー事務所内会議室

親睦会場所：銀座アスター 藤沢賓館

*清水 裕委員長、木島俊雄次年度委員長が出席します。

新会員紹介

高橋賢二様

住所 神奈川県秦野市西田原988

家族 妻：和枝 長男：衛 3人

最終学歴 関東学院大学工学部建築学科

会社 所在地 神奈川県平塚市馬入本町2-4

業種 管工事業 空調給排水衛生設備

役職 代表取締役 社長



<メークアップ>

6名

木村義広、片野之万、桐本美智子、
櫻井弘己、水越久晴、清水 裕会員

<ゲスト・ビジター>

2名

城崎陽子様(卓話者)、加藤公子様(ご友人)

<本日のスマイル>

20名

<卓話・行事予定>

4月19日(木) 小笠原 勲会員

26日(木) 平塚市美術館館長 草薙奈津子様
平塚ロータリー文化奨励賞贈呈式・卓話(平塚R基金委員会)

5月 3日(木) 休会(祝日)

10日(木) 浜銀総合研究所「会員アンケート調査報告」

17日(木) プログラム委員会(卓話予定)

24日(木)→25日(金) 春の家族会

<市内例会変更>

現在ございません。